

# フィルハーモニカー・ウィーン・名古屋 第21回演奏会

第20回の区切りから新たなスタートとなる本演奏会、今回取り上げるのは、約100年の時を隔て共にウィーンで演奏家としても名を馳せた二人の「M」。マーラーの中では「古典的」とも言われる第4番ですが、モーツァルトの明朗な響きからは、次の世紀末を経て大きく変容しています。そのメルヘンとアイロニーが同居する不思議な世界を、当団初となる女性指揮者の藤崎奈美氏のタクトでどうぞお楽しみあれ。



指揮  
藤崎 奈美  
FUJISAKI Nami

長崎県佐世保市出身。九州大学教育学部卒業。指揮をアレクサンダー・ポリャニチコ(ロシア・マリンスキー劇場指揮者)、エンニオ・ニコラ、佐藤功太郎、曾我大介、下野竜也の各氏に師事。室内楽を豊嶋泰嗣氏に師事。2015年、ドナウ交響楽団主催ブダベスト国際指揮コンペティションにて優勝。2017年、ロンドン夏期指揮コンペティションにて優勝。2019年、モーツァルト&チャイコフスキー ドナウ国際指揮コンペティションにて優勝。2011年以降、サンクトペテルブルク、ブダベスト、カルロヴィヴァリイ、オロモウツ、ロンドン等、ヨーロッパ各地で国際指揮マスタークラスを受講。2013年、第34回霧島国際音楽祭の指揮クラスにて高関健・下野竜也各氏のレッスンを受講。これまでに、ロシアに於いてサンクトペテルブルク・ステイト・シンフォニーオーケストラ、ペドロザヴォーツク・コンセルヴァトワールオーケストラ、ノヴォシビルスク・チェンバーオーケストラ、ムルマンスク・シンフォニーオーケストラ等の演奏会を指揮。ルーマニアに於いて、ルーマニア国立コンスタンツァ歌劇場オーケストラの演奏会を指揮。2017年4月、チェコ・プラハのスメタナホールにて開催されたウエスト・ボヘミアン・シンフォニーオーケストラによるスメタナ作曲「我が祖国」全曲演奏会にて指揮。

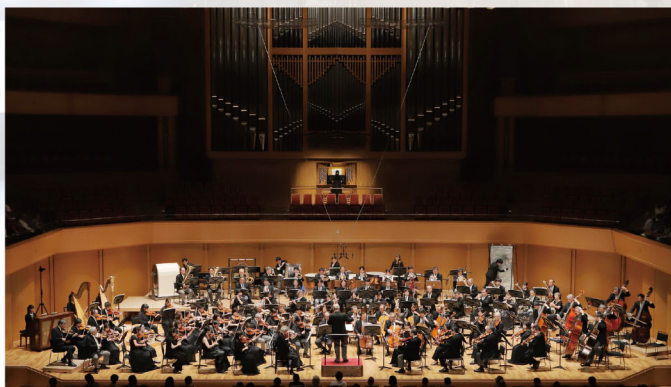


ソプラノ  
板倉 歌奈子  
ITAKURA Kanako

愛知県立明和高等学校音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。クラシックのみならず、ポップス、アニメソング、カンツォーネ、ミュージカルなどの幅広いジャンルに定評があり、愛知県を拠点に東京、静岡など各地のコンサートに出演。2006年、2008年、2013年に、愛知県にて自身のリサイタルを開催し好評を博す。2013年名古屋芸術創造センター企画公演 人形劇「クリスマス・キャロル」(脚本・演出/麻創けい子)に出演するなど、他ジャンルの方との共演も多い。劇団や小学校の歌唱指導など後進の指導にも力を入れている。人形劇団むすび座「オズのまほうつかい」、「チト みどりのゆびをもつ少年」の歌唱指導を担当。これまでにCD「歌の天使に抱かれて!」、「Song for you」をリリースし、2022年2月28日に初のオリジナル曲収録CD「SING! SING!」をリリース。2023年7月に3曲目となるオリジナル曲「Vocalise」が完成。2023年フィルハーモニカー・ウィーン・名古屋 第18回演奏会にてオペラ「カルメン」(抜粋)のミカエラ、同年同団体の第19回演奏会にてベートーヴェン「合唱幻想曲」のソプラノソリストを務める。板倉歌奈子ミュージックスクール主宰。

## 管弦楽 フィルハーモニカー・ウィーン・名古屋 Philharmoniker Wien Nagoya

フィルハーモニカー・ウィーン・名古屋(PWN)は、ウィーン音楽・ウィーン式管楽器をこよなく愛する東海地区のアマチュア奏者を中心に2011年に創設されたオーケストラです。管・打楽器は全員が、世界最高峰ともされるウィーン・フィルハーモニー管弦楽団(WPh)で使用されている独特のスタイルの楽器～ウィンナ・オーボエ、ウィンナ・ホルン、ウィーン・アカデミー式クラリネット、ウィンナ・ティンパニなど～を使用しており、その美しい響きを追求する、他に類を見ない楽団と言えます。また、その楽器を使用するだけでなく、WPhの団員やOBの演奏家を指揮者やソリストとして招聘し、その薫陶も受けつつ更なる高みを目指しており、10代から80代、関東や関西からも幅広くメンバーが集まっています。



### 刈谷市総合文化センター アイリス

刈谷市若松町2-104

- 電車 JR東海道本線・名鉄三河線「刈谷」駅南口よりウイングデッキ直結徒歩3分
- 車 伊勢湾岸自動車道豊明ICより約20分・刈谷スマートIC、及び豊田南ICより約25分(駐車場4時間まで無料)

